

第1回がん看護学分野主催 若年性がん患者さんのための患者カフェ報告書

共催：東北次世代がんプロ養成推進プラン

がん看護学分野では令和元年8月3日、以下のプログラムを滞りなく行った。

カフェには、がん患者8名、家族4名、友人3人の参加があった。

カフェ内容は、リラクゼーション方法や自己紹介によるアイスブレイクの後に、参加者同士が自由に語りあった。話されていた内容は、診断されたときのこと、おこなっている治療への対応、日常生活の悩みなどであった。また、家族の参加者は子供が診断された辛さや苦悩についての語りがあった。

参加者と評価として、アンケートに回答があった参加者は85.7%が「よかった」と回答し、「これまでAYA世代の集まりがなかったため、とても貴重な会に参加させていただきありがとうございました。」「乗り越えようとしている方、乗り越えた方、ご家族、お友達、さまざまな方のお話をうかがいました。カフェの時間も、帰路も、うまく言葉に表現できない、複雑なものを感じ、考えました。言葉に表現できませんが、中身の濃い、いい時間でした。」「初めてでしたので気構えしていた部分もありましたが、お話を聞いたりするうちに打ち解けられ、自分のことも話せました。とてもあたたかい雰囲気でした。よかったです。」などの声が聞かれ、大変有意義な会となった。

スケジュール

日 時：令和元年8月3日（土）10：30 - 12：00

オリエンテーション

リラクゼーション（筋弛緩法）

交流

会 場：東北大学医学部保健学科 A 棟 第1演習室

参加者：15名

がん患者8名(男性3名、女性5名)、家族4名(男性2名、女性2名)、

友人3人(男性1名、女性2名)

15歳以上40歳未満にある時期にがん罹患されたがん治療中の方と家族、友人

*がんの罹患部位、性別は問わない

(スタッフ6名：がん看護学分野教員2名、がん看護専門看護師3名、短大教員1名)